

新ランク区分からみた大分県における製麺用小麦の現地実態

後藤志乃・永元良知・山崎 哲
(大分県農業技術センター)Shino Goto, Yoshinori Nagamoto and Akira Yamasaki :
Actual Condition to Quality of Wheat based on Newly Rank Division in Oita Prefecture

麦の品質改善奨励金のランク区分は、これまで産地銘柄別に作付前に評価がなされてきたが、2005年産麦より、生産物の品質検査を経て評価される事後評価方式に移行することとなった。この方式による新ランク区分では、タンパク質含有率、灰分含有率、容積重、フォーリングナンバーの4項目が評価に用いられ、それぞれに基準値が設けられている。そこで、大分県下で栽培されている製麺用小麦について、現地実態調査を行った。

1. 材料および方法

サンプルの収集は県内6か所の農業振興普及センターに依頼した。2001～2003年の3か年で農林61号計98点、チクゴイズミ計90点を収集した。新ランク区分の評価方法に基づき、タンパク質含有率、灰分含有率、容積重、フォーリングナンバーの分析を行った。

2. 結果および考察

1) タンパク質含有率

農林61号、チクゴイズミとも全般に低く、基準値(9.5～11.5%)の範囲内となったサンプルは両品種とも2割を下回っていた(第1, 2表)。全サンプルを平均すると農林61号で8.8%、チクゴイズミで8.6%と、農林61号がやや優る結果となった。

2) 灰分含有率

3か年を通じて農林61号よりチクゴイズミの方が明らかに低く、平均では農林61号が1.65%、チクゴイズミは1.51%であった。基準値の1.60%以下を達成したサンプルは農林61号で34%、チクゴイズミで74%と、大きな差が認められた(第1, 2表)。また、地域別にみるとばらつき大きい地域と値の安定している地域が認められた。

3) 容積重

本試験ではリットル升を用いて測定しており、ブラウエル穀粒計で測定した値より25g/l程度軽くなるため、基準値は820g/l以上とした。両品種とも全般に低い値であったが、3か年平均では農林61号が812g/l、チクゴイズミが821g/lであり、チクゴイズミの方がやや優っていた(第1, 2表)。

4) 澱粉粘度(フォーリングナンバー)

ラピッドビスコアナライザーで測定した最高粘度の値を用いた。年度、品種間でばらつきがあり、農林61号の値は安定しているのに対し、チクゴイズミでは大きなばらつきが認められた(第1, 2表)。地域間差も認められたことから、収穫時期や収穫物の保管方法について対策をとる必要がある。

5) ランク区分

以上4項目の分析結果を基にランク区分を行った。両品種とも各ランクで同程度の比率となり、Cランクに区分されたサンプルが最も多かった。しかし、チクゴイズミの方が農林61号より上位に区分されるサンプルが多く、

やや優れた(第1図)。

ランク区分低下要因は、農林61号ではタンパク質含有率、灰分含有率、容積重で基準値に達していないためであった。一方、チクゴイズミではタンパク質含有率が要因となっていた。

以上のことから、大分県の製麺用小麦はCランクが多い現状にあり、品質向上対策としてはタンパク質含有率の向上を図ることが必要である。

第1表 農林61号のランク区分

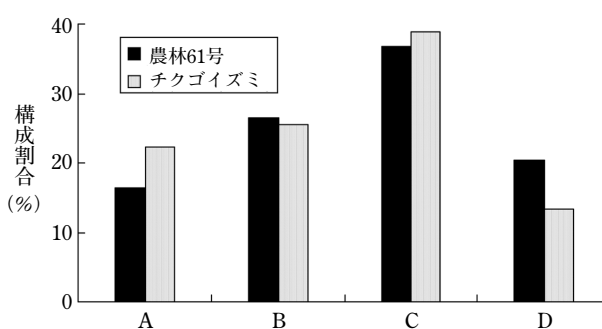
場所	生産年	ランク区分	タンパク質含有率%	灰分含有率%	容積重 g/l	最高粘度 (RVA)
西高	2001	A	8.2	1.57	821	385
	2002	C	8.7	1.61	807	361
	2003	C	9.4	1.70	808	354
東国東	2001	B	8.1	1.66	832	361
	2002	C	8.8	1.62	795	375
	2003	C	9.0	1.66	811	349
中津	2001	B	8.2	1.69	831	374
	2002	C	7.6	1.54	711	394
	2003	C	8.9	1.70	816	345
宇佐	2001	B	9.4	1.66	839	364
	2002	B	8.4	1.59	802	372
	2003	C	9.3	1.70	814	348

注) 太字ゴシック体は基準値を達成していることを表す。

第2表 チクゴイズミのランク区分

場所	生産年	ランク区分	タンパク質含有率%	灰分含有率%	容積重 g/l	最高粘度 (RVA)
西高	2001	A	8.3	1.51	847	376
	2002	A	8.4	1.45	820	394
	2003	B	8.7	1.58	819	383
東国東	2001	A	9.0	1.47	831	338
	2002	C	8.7	1.44	795	299
	2003	C	7.8	1.46	816	394
大分	2001	C	8.5	1.52	811	280
	2002	A	8.5	1.41	821	344
	2003	B	9.7	1.58	803	298
大野	2001	C	10.1	1.57	824	236
	2002	B	8.6	1.48	806	330
	2003	B	8.4	1.53	803	321
中津	2001	B	9.0	1.62	851	339
	2002	C	7.3	1.47	812	349
	2003	A	10.0	1.58	799	364

注) 太字ゴシック体は基準値を達成していることを表す。



第1図 ランク区分と構成割合 (3か年合計)